

# バケツト輸送における前処理溶液とバラ切り花の花持ち

## 1. はじめに

切り花のバケツト輸送は、県内ではバラ、シュッコンカスミソウ等において導入が進んでいます。また、切り花の品質保持剤についても市販されており、ここではバケツト輸送時の前処理溶液の違いが花持ちに及ぼす影響について検討しました。

## 2. 試験方法

品種「ローテローゼ」を用い、2006年5月30日に採花した開花程度（宇田ら（1995）の指標による）3～4、長さ60cmに調製した切り花を用いました。

試験区は表1のとおり設け、各区の処理本数は5本とし、これらの前処理溶液に生けた切り花を5℃の冷蔵庫内で24時間保持しました。前処理終了後、蒸留水を入れた容器に生け替え、10℃の恒温庫に48時間、暗黒条件下で保持しました。

生け花調査は、各区の切り花を新しい蒸留水に生け替え、室温22～24℃、相対湿度50～80%、光強度 $10\mu\text{mol}\cdot\text{m}^{-2}\cdot\text{s}^{-1}$ 、12時間照明の条件下で行いました。

表1 前処理溶液の試験区

試験区	倍数	糖	抗菌剤
A剤 <sup>Z</sup>	50倍	1%ショ糖	レジエントMK+硫酸アルミニウム
B剤 <sup>Y</sup>	100倍	1%ショ糖	ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム
C剤 <sup>X</sup>	50倍	—	レジエントMK+硫酸アルミニウム
蒸留水	—	—	—

<sup>Z,Y,X</sup>K社製

表2 前処理溶液が花持ちに及ぼす影響

試験区	花持ち日数（日）
A剤	5.4 ± 0.9 <sup>Z</sup>
B剤	6.8 ± 0.2
C剤	5.8 ± 0.7
蒸留水	4.0 ± 0.3

<sup>Z</sup>平均値 ± 標準誤差

## お知らせ

### 人事異動（平成19年4月1日付）

転出 旧職名	氏名	新所属名
所長	小沢良和	果樹試験場
園芸部副主査研究員	福嶋総子	退職
園芸部現業技能員	中岡照雄	果樹試験場うめ研究所
転入 新職名	氏名	旧所属名
所長	小椋一生	就農支援センター
園芸部副主査研究員	尾崎 健	日高振興局産業振興部
育種部現業技能員	福居秀仁	果樹試験場うめ研究所

## 3. 試験結果

生け花後の花持ち日数は、いずれの品質保持剤区も蒸留水区より長くなりました（表2）。品質保持剤区間ではB剤区が最も長く、他の2剤はやや短くなりました（表2）。

生け花後の切り花重は、各区とも生け花後1日目まで増加し、その後減少しました（図1）。A剤区、蒸留水区は生け花後3日目、C剤区は4日目から急激に減少しましたが、B剤区は漸減傾向を示しました（図1）。

## 4. おわりに

以上の結果、前処理溶液にショ糖+抗菌剤、抗菌剤を添加すると、蒸留水に比べて花持ちは優れました。また、ショ糖+抗菌剤では、B剤の方が花持ちは優れ、1%ショ糖とジクロロイソシアヌル酸ナトリウムの組み合わせが花持ち延長に高い効果があると考えられました。

（園芸部 紺谷 均）

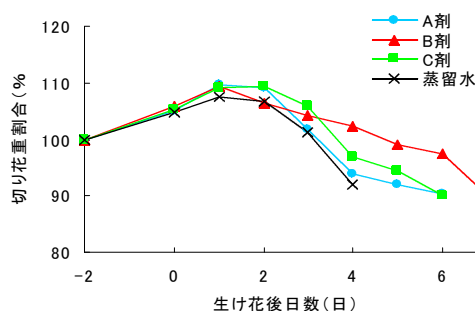


図1 前処理溶液と切り花重割合

注) 切り花重割合：輸送シミュレーション前の切り花重を100とした値

### 和歌山県農林水産総合技術センター

#### 暖地園芸センターニュース No. 31

平成19年7月20日発行

編集・発行 和歌山県農林水産総合技術センター  
暖地園芸センター

〒644-0024 和歌山県御坊市塩屋町南塩屋 724

TEL 0738-23-4005

FAX 0738-22-6903

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070109/gaiyou/003/003.htm>

印刷所

（この印刷物は再生紙を使用しております）